

目白大学の学生における資格取得状況、及び資格に 対する意識についての調査

—日本漢字能力検定、日本語検定、国際コミュニケーション英語能力テスト
(TOEIC)、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) を対象として—

The survey of the status of acquiring qualifications and students' awareness
surrounding such for Mejiro University students and Mejiro College students

—Focus on Japan Kanji Aptitude Testing, Japanese Language Examination, Test of
English for International Communication, and Microsoft Office Specialist—

河野理恵 矢島卓郎 鈴木章生 西尾典洋
上岡史郎 大枝近子 若井知草

(Rie KAWANO Takuro YAJIMA Shousei SUZUKI Norihiro NISHIO
Shiro KAMIOKA Chikako OEDA Chigusa WAKAI)

Abstract:

The purpose of this study, which was conducted on Mejiro University students and Mejiro College students, is to illustrate the status of acquiring qualifications and students' awareness surrounding such. These qualifications include the Japan Kanji Aptitude Testing (*Kan-Ken*), Japanese Language Examination (*Go-Ken*), Test of English for International Communication (TOEIC), and Microsoft Office Specialist (MOS). The findings showed in detail the reality surrounding qualifications for students, whereby the status of acquiring qualifications and the support required differs for each of the four qualifications. We argue that it is therefore important for universities to establish an appropriate support system for each qualification.

キーワード : 資格取得状況、資格に対する意識、大学の支援

Keywords : status of acquiring qualifications, awareness of acquiring qualifications,
support system in Mejiro University

かわのりえ：目白大学人間学部心理カウンセリング学科准教授

やじまたくろう：目白大学人間学部人間福祉学科教授

すずきしょうせい：目白大学社会学部地域社会学科教授

にしおのひろ：目白大学社会学部メディア表現学科専任講師

かみおかしろう：目白大学短期大学部ビジネス社会学科准教授

おおえだちかこ：目白大学社会学部社会情報学科教授

わかいちぐさ：目白大学外国語学部日本語・日本語教育学科専任講師

I 研究の背景と目的

大学生・短期大学生の就職状況が芳しくないと言われて久しい。そのため、最終教育機関である大学や短期大学には高い教養と専門的能力を教授することと同時に、‘学生生活から職業生活などへの移行’の支援を行うことが求められるようになっており、卒業後の将来を見据えながらの学生生活の指導が必要とされている。このような状況の中、学生の就業力の強化を重視した大学等設置基準の改正が行われ、平成23年度から大学などにおける職業指導（キャリア・ガイダンス）の実施が制度化された（文部科学省、2013）。これは、大学や短期大学などに対して、教育課程内外を通じて、社会的、及び職業的自立を図るための必要な能力を培うように指導することや、その体制を整えることなどを義務付けたものである。多くの大学が教育課程内の支援として、キャリア形成に必要な能力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力など）を向上させる授業を開発したり、職業意識を高めるための様々な講座を開いたり、インターンシップに積極的に取り組めるような整備をしている。一方、教育課程外の支援は、各大学や短期大学の方針、実情に応じて体制が整えられており、就職に関する相談会や個別カウンセリングが行われたり、資格取得を奨励し、その講座が開催されたり、報奨金が出されたりしている。

このような大学への職業指導（キャリア・ガイダンス）における教育課程外の支援という使命に関係して、目白大学資格支援センター総合資格支援プロジェクトでは、平成21年度からワーキンググループを立ち上げ、教育免許以外のあらゆる資格を対象に、資格取得にかかわる総合的な企画、調査、検証を行うことを目的として活動を行ってきた。平成21年度は、大学と短期大学の学生に対して、「どのような資格を取得したいか」についてのアンケート調査を実施した。また平成22年度は、「資格に対する導入教育や周知の方法」、「新たに取得することを求める資格」などについて学科教員にアンケート調査を実施した。さらに平成23年度は、大学生と短期大学生における資格に対する意

識、及びニーズを調査するため、学生有志からの聞き取り調査を行った。その結果を踏まえ、大学生と短期大学生を対象として、同様のアンケート調査を実施した。そして平成24年度は、複数の他大学に訪問し、学生の資格取得状況、資格支援の取り組みなどについて聞き取り調査を行った。これらの調査結果や活動内容は、目白大学生の資格に関するニーズ調査報告書としてまとめられている（矢島・鈴木・笹川・河野・西尾・上岡、2013）。このように総合資格支援プロジェクトワーキンググループでは、目白大学に所属する学生の資格取得に対する支援について多角的に検討し、その結果を大学に提言してきた。とりわけ平成23年度の大学生と短期大学生における資格に対する意識、及びニーズに関するアンケート調査では、多くの資格に対する意見を集約したいと考えたため、100を超える検定資格を対象とした。その結果、幅広い領域の資格に対する学生の意識やニーズを理解できた反面、1つ1つの資格における取得状況や意識などを詳細に検討するところまでには至らなかった。そのため、今後、資格取得を学生に積極的に奨励していくためにも、学生の資格取得状況や、資格に対する意識などを丁寧に把握する調査を再度実施することが必要だと考えられた。

そこで平成26年度に、平成23年度に実施したアンケート調査を踏まえ、学生と大学教員の双方が重視していると考えられる日本語漢字能力検定、日本語検定、国際コミュニケーション英語能力テスト、マイクロソフトオフィススペシャリストという4つの特定の資格を対象にして、学生における資格の取得状況とそれらの資格に対する意識についての調査を行った。この調査を行うことにより、特定の資格に対する取得状況やその資格に対する意識や求める支援形態などを明確にすることができたと考える。本稿ではその平成26年度に実施したアンケート調査の概要、結果などを述べる。とりわけ結果の前半においては、学部、あるいは学科ごとに4つの資格に対する取得状況や意識をまとめていく。また後半においては、目白大学の学生全体、すなわち4つの資格に対する総合的な取得

状況や意識を報告する。そして最後に、今後の目白大学において、学生が資格を取得することを支援するために必要な体制や課題などについて述べることにする。

Ⅱ 方法

1. 調査対象者

目白大学新宿キャンパスに在籍する学生1654人（男性543人、女性1035人、未回答76人）。在籍学科は、心理カウンセリング学科242人、人間福祉学科136人、子ども学科205人、児童教育学科81人、社会情報学科251人、メディア表現学科194人、地域社会学科147人、経営学科40人、英米語学科78人、中国語学科42人、韓国語学科19人、日本語・日本語教育学科80人、生活科学科57人、製菓学科27人、ビジネス社会学科34人、未回答21人であった。学年は、1年生729人、2年生374人、3年生454人、4年生78人、未回答19人であった。希望の進路は、就職1428人、進学108人、その他58人、未回答60人であった。

2. 調査時期

2014年10月30日～11月28日。

3. 調査方法

Webページ上で質問に答えてもらう質問紙調査。学生に調査用Webページの案内を配布し、自ら携帯、またはパソコンでアクセスしてもらった。

4. 調査内容

フェースシート（在籍学科、学年、性別、希望の進路）、日本語漢字能力検定（以下、漢検）、日本語検定（以下、語検）、国際コミュニケーション英語能力テスト（以下、TOEIC）、Microsoft Office Specialist（以下、MOS）における資格取得状況、及びそれぞれの資格に対する意識について回答を求めた。ところで、MOSにはWord、Excel、PowerPoint、Access、Outlookという試験科目があるが、今回はそのどれについて回答しても構わないことにした。

Ⅲ 結果

1. 各資格における質問項目に対するカテゴリーごとの集計

在籍学科ごとに回答者数のばらつきがあったため、回答者数、学科の特性などを考慮し、次のように在籍学科を8つのカテゴリーに区分して集計を行った。1. 心理カウンセリング学科、2. 人間福祉学科、子ども学科、児童教育学科（国家資格や教員免許など学科独自の資格取得目標がある：以下、人間学部）、3. 社会情報学科、4. メディア表現学科、5. 地域社会学科、6. 経営学科、7. 英米語学科、中国語学科、韓国語学科、日本語・日本語教育学科（語学系の学科である：以下、外国語学部）、8. 生活科学科、製菓学科、ビジネス社会学科（短期大学部である：以下、短期大学部）。なお、在籍学科の項目が未回答であった21人は、今回の集計から除外した。

漢検、語検、TOEIC、MOSという4つの資格それぞれに対して実施した質問項目について、カテゴリーごとに集計を行い、以下のような結果が得られた。

1) 漢検について

質問①「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

すべてのカテゴリーにおいて半数に近い者が、「自分のレベルアップ（自己向上）に適している」と回答していた。またその次に多かったのは、「就職に有利である」という回答であった（Table 1）。

質問②「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

すべてのカテゴリーにおいて、3級の合格者が多く、2級以上に合格している者は少なかった。また、漢検を受験したことがない者は、少ないカテゴリーで33.7%、多いカテゴリーで55.0%であった（Table 2）。

質問③「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「思っており、勉強（活動）をしている」と「思っているが勉強（活動）はしていない」という‘受けよ

Table 1 漢検：「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

	就職に有利である	自分のレベルアップ(自己向上)に適している	取得してもメリットがない	自分の能力では取得が難しい	この資格を知らない	回答者合計
心理カウンセリング学科	98 (31.5%)	160 (51.4%)	28 (9.0%)	25 (8.0%)	0 (0.0%)	311
人間学部	201 (38.4%)	244 (46.7%)	24 (4.6%)	46 (8.8%)	8 (1.5%)	523
社会情報学科	64 (20.8%)	181 (59.0%)	33 (10.7%)	28 (9.1%)	1 (0.3%)	307
メディア表現学科	67 (27.9%)	128 (53.3%)	26 (10.8%)	17 (7.1%)	2 (0.8%)	240
地域社会学科	43 (24.3%)	101 (57.1%)	17 (9.6%)	13 (7.3%)	3 (1.7%)	177
経営学科	11 (22.0%)	31 (62.0%)	2 (4.0%)	5 (10.0%)	1 (2.0%)	50
外国語学部	96 (34.7%)	127 (45.8%)	26 (9.4%)	22 (7.9%)	6 (2.2%)	277
短期大学部	44 (29.9%)	72 (49.0%)	10 (6.8%)	19 (12.9%)	2 (1.4%)	147

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 2 漢検：「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

	3級に合格	2級に合格	1級に合格	受験をして不合格	受験をしたことがない	回答者合計
心理カウンセリング学科	102 (40.8%)	27 (10.8%)	0 (0.0%)	29 (11.6%)	92 (36.8%)	250
人間学部	149 (36.3%)	30 (7.3%)	0 (0.0%)	93 (22.7%)	138 (33.7%)	410
社会情報学科	81 (31.9%)	14 (5.5%)	0 (0.0%)	49 (19.3%)	110 (43.3%)	254
メディア表現学科	69 (35.2%)	8 (4.1%)	1 (0.5%)	34 (17.3%)	84 (42.9%)	196
地域社会学科	46 (30.1%)	15 (9.8%)	0 (0.0%)	23 (15.0%)	69 (45.1%)	153
経営学科	8 (20.0%)	4 (10.0%)	0 (0.0%)	6 (15.0%)	22 (55.0%)	40
外国語学部	71 (32.0%)	20 (9.0%)	2 (0.9%)	37 (16.7%)	92 (41.4%)	222
短期大学部	33 (28.2%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	39 (33.3%)	44 (37.6%)	117

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

う」という意思のある者’は半数を超えていた。その中においては、「思っているが勉強（活動）はしていない」という回答が顕著に多かった（Table 3）。

質問④「上記質問③で「思っており、勉強（活動）をしている」と答えた方のみにお聞きします。現在、この資格（さらに上の級）の取得のために行っている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「参考書を用いて、独自に勉強している」との回答が一番多かった（Table 4）。

質問⑤「上記質問③で「思っているが勉強（活動）はしていない」と答えた方のみにお聞きします。資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「自分の好

きな活動を優先させたいため、時間がない」との回答が一番多かった（Table 5）。

質問⑥「上記質問③で「思っていない」と答えた方のみにお聞きします。この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

すべてのカテゴリーにおいて、「この資格の取得に魅力を感じない」との回答が一番多かった（Table 6）。

質問⑦「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。あなたにとって一番重要だと思うもの1つに印をつけてください。」

短期大学部では、「資格のための対策講座の設置」「学内での団体受験の機会」との回答が多かったが、それ以外では、「金銭的な援助」「資格のための対策講座の設置」が上位であった（Table 7）。

Table 3 漢検：「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

	思っており、勉強（活動）をしている	思っているが、勉強（活動）はしていない	思っていない	未回答	回答者合計
心理カウンセリング学科	25 (10.3%)	118 (48.8%)	99 (40.9%)	0 (0.0%)	242
人間学部	25 (5.9%)	199 (47.2%)	193 (45.7%)	5 (1.2%)	422
社会情報学科	17 (6.8%)	89 (35.5%)	144 (57.4%)	1 (0.4%)	251
メディア表現学科	15 (7.7%)	102 (52.6%)	77 (39.7%)	0 (0.0%)	194
地域社会学科	5 (3.4%)	74 (50.3%)	68 (46.3%)	0 (0.0%)	147
経営学科	1 (2.5%)	20 (50.0%)	19 (47.5%)	0 (0.0%)	40
外国語学部	22 (10.0%)	103 (47.0%)	93 (42.5%)	1 (0.5%)	219
短期大学部	5 (4.2%)	57 (48.3%)	56 (47.5%)	0 (0.0%)	118

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 4 漢検：「現在、この資格（さらに上の級）の取得のためにやっている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

	参考書を用いて、独自に勉強している	この資格に関する授業や講座を履修している	教員に勉強を教えてもらっている	友人に勉強を教えてもらっている	この資格のHP、ガイドブックを読んだりしている	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	31 (60.8%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	17 (33.3%)	51
人間学部	53 (50.5%)	8 (7.6%)	5 (4.8%)	6 (5.7%)	11 (10.5%)	22 (21.0%)	105
社会情報学科	25 (49.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (7.8%)	6 (11.8%)	16 (31.4%)	51
メディア表現学科	29 (54.7%)	4 (7.5%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (5.7%)	16 (30.2%)	53
地域社会学科	8 (32.0%)	1 (4.0%)	0 (0.0%)	3 (12.0%)	5 (20.0%)	8 (32.0%)	25
経営学科	5 (41.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	2 (16.7%)	2 (16.7%)	12
外国語学部	45 (61.6%)	2 (2.7%)	2 (2.7%)	3 (4.1%)	9 (12.3%)	12 (16.4%)	73
短期大学部	10 (37.0%)	4 (14.8%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (40.7%)	27

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 5 漢検：「資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強の仕方が分からない	他の資格取得の勉強が忙しい	他の専門的勉強やゼミ活動が忙しい	アルバイトを優先させたいため、時間がない	自分の好きな活動を優先させたいため、時間がない	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	13 (10.2%)	14 (11.0%)	13 (10.2%)	29 (22.8%)	51 (40.2%)	7 (5.5%)	127
人間学部	26 (11.4%)	24 (10.5%)	45 (19.7%)	41 (17.9%)	79 (34.5%)	14 (6.1%)	229
社会情報学科	14 (13.6%)	12 (11.7%)	9 (8.7%)	18 (17.5%)	43 (41.7%)	7 (6.8%)	103
メディア表現学科	14 (12.5%)	14 (12.5%)	17 (15.2%)	19 (17.0%)	42 (37.5%)	6 (5.4%)	112
地域社会学科	12 (14.1%)	7 (8.2%)	18 (21.2%)	20 (23.5%)	25 (29.4%)	3 (3.5%)	85
経営学科	4 (17.4%)	6 (26.1%)	2 (8.7%)	3 (13.0%)	7 (30.4%)	1 (4.3%)	23
外国語学部	16 (12.5%)	34 (26.6%)	20 (15.6%)	27 (21.1%)	27 (21.1%)	4 (3.1%)	128
短期大学部	9 (13.0%)	20 (29.0%)	8 (11.6%)	5 (7.2%)	23 (33.3%)	4 (5.8%)	69

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 6 漢検：「この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強のレベル が高すぎる (内容が難し い)	受験したが大 合格だったの で、やる気が しない	この資格の取 得に魅力を感じ ない	勉強するのが めんどうくさ い	この資格がど のような内容 がわからない	受験料が高い	その他	回答者 合計
心理カウンセリング学科	7 (6.4%)	7 (6.4%)	58 (53.2%)	27 (24.8%)	2 (1.8%)	5 (4.6%)	3 (2.8%)	109
人間学部	21 (9.4%)	24 (10.7%)	89 (39.7%)	61 (27.2%)	9 (4.0%)	12 (5.4%)	8 (3.6%)	224
社会情報学科	7 (4.4%)	12 (7.6%)	94 (59.5%)	34 (21.5%)	2 (1.3%)	6 (3.8%)	3 (1.9%)	158
メディア表現学科	4 (4.3%)	14 (14.9%)	41 (43.6%)	24 (25.5%)	1 (1.1%)	6 (6.4%)	4 (4.3%)	94
地域社会学科	5 (6.9%)	2 (2.8%)	41 (56.9%)	16 (22.2%)	5 (6.9%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	72
経営学科	2 (7.7%)	1 (3.8%)	14 (53.8%)	3 (11.5%)	3 (11.5%)	0 (0.0%)	3 (11.5%)	26
外国語学部	12 (10.4%)	8 (7.0%)	49 (42.6%)	20 (17.4%)	9 (7.8%)	8 (7.0%)	9 (7.8%)	115
短期大学部	13 (20.3%)	4 (6.3%)	28 (43.8%)	14 (21.9%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	4 (6.3%)	64

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 7 漢検：「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。」

	資格のため の対策講座 の設置	資格のため の説明会、 相談会の設 置	学内での問 題集の販売	金銭的な援 助	学内での団 体受験の機 会	その他	未回答	回答者 合計
心理カウンセリング学科	62 (25.6%)	15 (6.2%)	35 (14.5%)	80 (33.1%)	46 (19.0%)	2 (0.8%)	2 (0.8%)	242
人間学部	96 (22.7%)	41 (9.7%)	45 (10.7%)	153 (36.3%)	75 (17.8%)	3 (0.7%)	9 (2.1%)	422
社会情報学科	72 (28.7%)	18 (7.2%)	25 (10.0%)	78 (31.1%)	54 (21.5%)	3 (1.2%)	1 (0.4%)	251
メディア表現学科	39 (20.1%)	13 (6.7%)	19 (9.8%)	92 (47.4%)	25 (12.9%)	2 (1.0%)	4 (2.1%)	194
地域社会学科	42 (28.6%)	17 (11.6%)	16 (10.9%)	37 (25.2%)	32 (21.8%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	147
経営学科	9 (22.5%)	5 (12.5%)	5 (12.5%)	17 (42.5%)	3 (7.5%)	0 (0.0%)	1 (2.5%)	40
外国語学部	51 (23.3%)	8 (3.7%)	25 (11.4%)	82 (37.4%)	42 (19.2%)	3 (1.4%)	8 (3.7%)	219
短期大学部	35 (29.7%)	6 (5.1%)	14 (11.9%)	28 (23.7%)	34 (28.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

2) 語検について

質問①「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「自分のレベルアップ（自己向上）に適している」との回答が多かったが、「就職に有利である」という回答も次いで多かった。その一方、「この資格を知らない」との回答もメディア表現学科以外では10.0%から23.4%とやや高い値となっていた（Table 8）。

質問②「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

すべてのカテゴリーにおいて、受験をしたことがない者が非常に多く、ほとんどのカテゴリーにおいて、3級以上の合格者は6%弱程度であった。他方、メディア表現学科では、3級以上の合格者が17.3%と高い値であった（Table

9）。

質問③「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「思っていない」との回答が多く、半数を超えていた。他方、メディア表現学科では、「思っており、勉強（活動）をしている」と「思っているが勉強（活動）はしていない」という‘受けようという意思のある者’が半数を超えていた。しかしながら、勉強（活動）をしていない者が顕著に多かった（Table 10）。

質問④「上記質問③で「思っており、勉強（活動）をしている」と答えた方のみにお聞きします。現在、この資格（さらに上の級）の取得のためにやっている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「参考書を

Table 8 語検：「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

	就職に有利である	自分のレベルアップ(自己向上)に適している	取得してもメリットがない	自分の能力では取得が難しい	この資格を知らない	回答者合計
心理カウンセリング学科	123 (38.3%)	130 (20.0%)	20 (6.2%)	16 (5.0%)	32 (10.0%)	321
人間学部	158 (32.0%)	166 (33.7%)	29 (5.9%)	33 (6.7%)	107 (21.7%)	493
社会情報学科	76 (25.7%)	115 (38.9%)	23 (7.8%)	15 (5.1%)	67 (22.6%)	296
メディア表現学科	114 (43.8%)	118 (45.4%)	13 (5.0%)	10 (3.8%)	5 (1.9%)	260
地域社会学科	61 (33.5%)	84 (46.2%)	10 (5.5%)	7 (3.8%)	20 (11.0%)	182
経営学科	13 (28.3%)	21 (45.7%)	2 (4.3%)	2 (4.3%)	8 (17.4%)	46
外国語学部	92 (36.8%)	82 (32.8%)	24 (9.6%)	12 (4.8%)	40 (16.0%)	250
短期大学部	37 (27.0%)	46 (33.6%)	11 (8.0%)	11 (8.0%)	32 (23.4%)	137

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 9 語検：「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

	3級に合格	2級に合格	1級に合格	受験をして不合格	受験をしたことがない	回答者合計
心理カウンセリング学科	8 (3.3%)	3 (1.3%)	3 (1.3%)	6 (2.5%)	220 (91.7%)	240
人間学部	15 (3.7%)	4 (1.0%)	3 (0.7%)	28 (6.9%)	356 (87.7%)	406
社会情報学科	5 (2.0%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)	4 (1.6%)	239 (95.6%)	250
メディア表現学科	32 (16.8%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	14 (7.4%)	143 (75.3%)	190
地域社会学科	6 (4.4%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	10 (7.3%)	117 (85.4%)	137
経営学科	0 (0.0%)	1 (2.7%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	35 (94.6%)	37
外国語学部	11 (5.2%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	6 (2.9%)	190 (90.5%)	210
短期大学部	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	114 (98.3%)	116

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 10 語検：「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

	思っており、勉強(活動)をしている	思っているが、勉強(活動)はしていない	思っていない	未回答	回答者合計
心理カウンセリング学科	16 (6.6%)	94 (38.8%)	127 (52.5%)	5 (2.1%)	242
人間学部	10 (2.4%)	98 (23.2%)	294 (69.7%)	20 (4.7%)	422
社会情報学科	4 (1.6%)	53 (21.1%)	188 (74.9%)	6 (2.4%)	251
メディア表現学科	20 (10.3%)	107 (55.2%)	64 (33.0%)	3 (1.5%)	194
地域社会学科	3 (2.0%)	51 (34.7%)	88 (59.9%)	5 (3.4%)	147
経営学科	0 (0.0%)	11 (27.5%)	28 (70.0%)	1 (2.5%)	40
外国語学部	9 (4.1%)	53 (24.2%)	144 (65.8%)	13 (5.9%)	219
短期大学部	0 (0.0%)	22 (18.6%)	88 (74.6%)	8 (6.8%)	118

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

用いて、独自に勉強している」との回答が一番多かった (Table 11)。

質問⑤「上記質問③で「思っているが勉強 (活動) はしていない」と答えた方のみにお聞きします。資格取得を考えているが、勉強 (活動) をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

5つのカテゴリーにおいて、「勉強の仕方が分からない」という回答が一番多かった。また、3つのカテゴリーにおいては、「自分の好きな活動を優先させたいため、時間が無い」という回答が一番多かった (Table 12)。

質問⑥「上記質問③で「思っていない」と答えた方のみにお聞きします。この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてく

ださい。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「この資格がどのような内容か知らない」という回答が一番多かった。一方、メディア表現学科では「勉強するのがめんどくさい」との回答が一番多かった (Table 13)。

質問⑦「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。あなたにとって一番重要だと思うもの1つに印をつけてください。」

すべてのカテゴリーにおいて、「金銭的な援助」「資格のための対策講座の設置」が上位であった (Table 14)。

Table 11 語検：「現在、この資格 (さらに上の級) の取得のためにに行っている主な勉強 (活動) 1つに印をつけてください。」

	参考書を用いて、独自に勉強している	この資格に関する授業や講座を履修している	教員に勉強を教えてもらっている	友人に勉強を教えてもらっている	この資格のHP、ガイドブックを読んだりしている	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	16 (55.2%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	2 (6.9%)	7 (24.1%)	29
人間学部	15 (25.0%)	6 (10.0%)	10 (16.7%)	9 (15.0%)	9 (15.0%)	11 (18.3%)	60
社会情報学科	5 (23.8%)	2 (9.5%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)	4 (19.0%)	6 (28.6%)	21
メディア表現学科	19 (41.3%)	9 (19.6%)	4 (8.7%)	1 (2.2%)	4 (8.7%)	9 (19.6%)	46
地域社会学科	5 (31.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (25.0%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)	16
経営学科	4 (44.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	1 (11.1%)	9
外国語学部	14 (35.0%)	4 (10.0%)	3 (7.5%)	4 (10.0%)	8 (20.0%)	7 (17.5%)	40
短期大学部	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	5

※実数は人数。かつこの中は比率 (少数第2位切り捨て)。

Table 12 語検：「資格取得を考えているが、勉強 (活動) をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強の仕方が分からない	他の資格取得の勉強が忙しい	他の専門的勉強やゼミ活動が忙しい	アルバイトを優先させたいため、時間が無い	自分の好きな活動を優先させたいため、時間が無い	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	30 (28.8%)	15 (14.4%)	13 (12.5%)	16 (15.4%)	26 (25.0%)	4 (3.8%)	104
人間学部	33 (24.4%)	15 (11.1%)	22 (16.3%)	26 (19.3%)	33 (24.4%)	6 (4.4%)	135
社会情報学科	20 (28.6%)	10 (14.3%)	3 (4.3%)	13 (18.6%)	19 (27.1%)	5 (7.1%)	70
メディア表現学科	15 (12.7%)	17 (14.4%)	20 (16.9%)	18 (15.3%)	40 (33.9%)	8 (6.8%)	118
地域社会学科	16 (24.2%)	11 (16.7%)	11 (16.7%)	10 (15.2%)	18 (27.3%)	0 (0.0%)	66
経営学科	6 (40.0%)	1 (6.7%)	3 (20.0%)	3 (20.0%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	15
外国語学部	17 (20.5%)	16 (19.3%)	9 (10.8%)	13 (15.7%)	24 (28.9%)	4 (4.8%)	83
短期大学部	11 (37.9%)	6 (20.7%)	4 (13.8%)	4 (13.8%)	4 (13.8%)	0 (0.0%)	29

※実数は人数。かつこの中は比率 (少数第2位切り捨て)。

Table 13 語検：「この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強のレベル が高すぎる (内容が難し い)	受験したが不 合格だったの で、やる気が しない	この資格の取 得に魅力を感じ ない	勉強するのが めんどうくさ い	この資格がど のような内容 か知らない	受験料が高い	その他	回答者 合計
心理カウンセリング学科	6 (4.4%)	2 (1.5%)	38 (28.1%)	23 (17.0%)	59 (43.7%)	2 (1.5%)	5 (3.7%)	135
人間学部	24 (7.8%)	5 (1.6%)	92 (30.0%)	47 (15.3%)	119 (38.8%)	14 (4.6%)	6 (2.0%)	307
社会情報学科	7 (3.6%)	2 (1.0%)	59 (30.4%)	28 (14.4%)	90 (46.4%)	3 (1.5%)	5 (2.6%)	194
メディア表現学科	4 (5.5%)	2 (2.7%)	20 (27.4%)	23 (31.5%)	6 (8.2%)	12 (16.4%)	6 (8.2%)	73
地域社会学科	5 (5.7%)	1 (1.1%)	27 (30.7%)	16 (18.2%)	34 (38.6%)	2 (2.3%)	3 (3.4%)	88
経営学科	3 (9.4%)	1 (3.1%)	8 (25.0%)	5 (15.6%)	12 (37.5%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	32
外国語学部	9 (5.8%)	4 (2.6%)	52 (33.8%)	15 (9.7%)	57 (37.0%)	11 (7.1%)	6 (3.9%)	154
短期大学部	2 (2.2%)	0 (0.0%)	28 (30.8%)	12 (13.2%)	48 (52.7%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	91

※実数は人数。かつこの中は比率 (少数第2位切り捨て)。

Table 14 語検：「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。」

	資格のための 対策講座の設 置	資格のための 説明会、相談 会の設置	学内での問題 集の販売	金銭的な援助	学内での団体 受験の機会	その他	未回答	回答者 合計
心理カウンセリング学科	65 (26.9%)	37 (15.3%)	26 (10.7%)	76 (31.4%)	32 (13.2%)	2 (0.8%)	4 (1.7%)	242
人間学部	97 (23.0%)	75 (17.8%)	31 (7.3%)	132 (31.3%)	61 (14.5%)	10 (2.4%)	16 (3.8%)	422
社会情報学科	78 (31.1%)	40 (15.9%)	19 (7.6%)	63 (25.1%)	44 (17.5%)	3 (1.2%)	4 (1.6%)	251
メディア表現学科	46 (23.7%)	10 (5.2%)	14 (7.2%)	95 (49.0%)	24 (12.4%)	0 (0.0%)	5 (2.6%)	194
地域社会学科	43 (29.3%)	27 (18.4%)	14 (9.5%)	36 (24.5%)	22 (15.0%)	2 (1.4%)	3 (2.0%)	147
経営学科	13 (32.5%)	10 (25.0%)	1 (2.5%)	12 (30.0%)	2 (5.0%)	0 (0.0%)	2 (5.0%)	40
外国語学部	54 (24.7%)	29 (13.2%)	23 (10.5%)	68 (31.1%)	26 (11.9%)	5 (2.3%)	14 (6.4%)	219
短期大学部	34 (28.8%)	22 (18.6%)	12 (10.2%)	24 (20.3%)	21 (17.8%)	1 (0.8%)	4 (3.4%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率 (少数第2位切り捨て)。

3) TOEICについて

質問①「この資格について、どのようなイメージをもっていますか (複数回答可)。」

すべてのカテゴリーにおいて、「就職に有利である」との回答が多く、ほとんどのカテゴリーで半数を超えていた。その一方、「自分の能力では取得が難しい」との回答も10.3%から23.3%とやや高い値であった (Table 15)。

質問②「現在までに、この資格を受験したことがありますか。」

すべてのカテゴリーにおいて、「受験をしたことがない」との回答が一番多かった。他方、外国語学部は、この資格を受験したことのある者が他のカテゴリーと比較して多かった (Table 16)。

質問③「現在、この資格 (さらに上の級) を取得したいと思っていますか。」

人間学部と短期大学部では半数以上が、「思

っていない」との回答であった。しかしそれ以外のカテゴリーでは、「思っており、勉強 (活動) をしている」と「思っているが勉強 (活動) はしていない」という‘受けようという意思のある者’が半数を超えていた。しかしながら、勉強 (活動) をしていない者が顕著に多かった (Table 17)。

質問④「上記質問③で「思っており、勉強 (活動) をしている」と答えた方のみにお聞きします。現在、この資格 (さらに上の級) の取得のために行っている主な勉強 (活動) 1つに印をつけてください。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「参考書を用いて、独自に勉強している」との回答が一番多かった (Table 18)。

質問⑤「上記質問③で「思っているが勉強 (活動) はしていない」と答えた方のみにお聞きします。資格取得を考えているが、勉強 (活動)

Table 15 TOEIC：「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

	就職に有利である	自分のレベルアップ（自己向上）に適している	取得してもメリットがない	自分の能力では取得が難しい	この資格を知らない	回答者合計
心理カウンセリング学科	201 (52.3%)	114 (20.0%)	1 (0.3%)	56 (14.6%)	12 (3.1%)	384
人間学部	289 (52.8%)	113 (20.7%)	11 (2.0%)	93 (17.0%)	41 (7.5%)	547
社会情報学科	206 (56.7%)	92 (25.3%)	4 (1.1%)	50 (13.8%)	11 (3.0%)	363
メディア表現学科	147 (52.5%)	73 (26.1%)	5 (1.8%)	44 (15.7%)	11 (3.9%)	280
地域社会学科	117 (57.6%)	53 (26.1%)	4 (2.0%)	21 (10.3%)	8 (3.9%)	203
経営学科	28 (51.9%)	14 (25.9%)	0 (0.0%)	7 (13.0%)	5 (9.3%)	54
外国語学部	167 (58.6%)	78 (27.4%)	4 (1.4%)	29 (10.2%)	7 (2.5%)	285
短期大学部	66 (41.5%)	34 (21.4%)	6 (3.8%)	37 (23.3%)	16 (10.1%)	159

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 16 TOEIC：「現在までに、この資格を受験したことがありますか。」

	470点未満	470点以上 600点未満	600点以上 730点未満	730点以上 860点未満	860点以上	受験をしたことがない	未回答	回答者合計
心理カウンセリング学科	7 (2.9%)	7 (2.9%)	3 (1.2%)	2 (0.8%)	1 (0.4%)	220 (90.9%)	2 (0.8%)	242
人間学部	16 (3.8%)	10 (2.4%)	3 (0.7%)	4 (0.9%)	3 (0.7%)	369 (87.4%)	17 (4.0%)	422
社会情報学科	14 (5.6%)	4 (1.6%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	229 (91.2%)	2 (0.8%)	251
メディア表現学科	9 (4.6%)	5 (2.6%)	2 (1.0%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	174 (89.7%)	1 (0.5%)	194
地域社会学科	13 (8.8%)	5 (3.4%)	1 (0.7%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)	125 (85.0%)	0 (0.0%)	147
経営学科	8 (20.0%)	5 (12.5%)	2 (5.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	23 (57.5%)	1 (2.5%)	40
外国語学部	71 (32.4%)	22 (10.0%)	4 (1.8%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	113 (51.6%)	6 (2.7%)	219
短期大学部	6 (5.1%)	3 (2.5%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	103 (87.3%)	4 (3.4%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 17 TOEIC：「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

	思っており、勉強（活動）をしている	思っているが、勉強（活動）はしていない	思っていない	未回答	回答者合計
心理カウンセリング学科	27 (11.2%)	139 (57.4%)	74 (30.6%)	2 (0.8%)	242
人間学部	15 (3.6%)	141 (33.4%)	233 (55.2%)	33 (7.8%)	422
社会情報学科	16 (6.4%)	125 (49.8%)	104 (41.4%)	6 (2.4%)	251
メディア表現学科	21 (10.8%)	98 (50.5%)	71 (36.6%)	4 (2.1%)	194
地域社会学科	13 (8.8%)	70 (47.6%)	64 (43.5%)	0 (0.0%)	147
経営学科	6 (15.0%)	21 (52.5%)	11 (27.5%)	2 (5.0%)	40
外国語学部	46 (21.0%)	109 (49.8%)	56 (25.6%)	8 (3.7%)	219
短期大学部	1 (0.8%)	34 (28.8%)	76 (64.4%)	7 (5.9%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「勉強の仕方が分からない」という回答が多かった（Table 19）。

質問⑥「上記質問③で「思っていない」と答え

た方のみにお聞きます。この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

すべてのカテゴリーにおいて、「勉強のレベルが高すぎる（内容が難しい）」という回答が一番多かった（Table 20）。

Table 18 TOEIC：「現在、この資格（さらに上の級）の取得のために行っている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

	参考書を用いて、独自に勉強している	この資格に関する授業や講座を履修している	教員に勉強を教えてもらっている	友人に勉強を教えてもらっている	この資格のHP、ガイドブックを読んだりしている	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	24 (54.5%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)	3 (6.8%)	3 (6.8%)	8 (18.2%)	44
人間学部	16 (23.9%)	7 (10.4%)	7 (10.4%)	8 (11.9%)	10 (14.9%)	19 (28.4%)	67
社会情報学科	16 (44.4%)	3 (8.3%)	2 (5.6%)	2 (5.6%)	4 (11.1%)	9 (25.0%)	36
メディア表現学科	22 (56.4%)	4 (10.3%)	2 (5.1%)	3 (7.7%)	4 (10.3%)	4 (10.3%)	39
地域社会学科	15 (53.6%)	1 (3.6%)	1 (3.6%)	2 (7.1%)	5 (17.9%)	4 (14.3%)	28
経営学科	5 (38.5%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	13
外国語学部	46 (54.8%)	8 (9.5%)	8 (9.5%)	6 (7.1%)	9 (10.7%)	7 (8.3%)	84
短期大学部	3 (37.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	8

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 19 TOEIC：「資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強の仕方が分からない	他の資格取得の勉強が忙しい	他の専門的勉強やゼミ活動が忙しい	アルバイトを優先させたいため、時間がない	自分の好きな活動を優先させたいため、時間がない	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	42 (28.4%)	19 (12.8%)	16 (10.8%)	21 (14.2%)	46 (31.1%)	4 (2.7%)	148
人間学部	59 (34.5%)	18 (10.5%)	34 (19.9%)	20 (11.7%)	34 (19.9%)	6 (3.5%)	171
社会情報学科	64 (48.1%)	15 (11.3%)	9 (6.8%)	17 (12.8%)	20 (15.0%)	8 (6.0%)	133
メディア表現学科	41 (37.6%)	9 (8.3%)	14 (12.8%)	14 (12.8%)	28 (25.7%)	3 (2.8%)	109
地域社会学科	36 (44.4%)	6 (7.4%)	11 (13.6%)	11 (13.6%)	16 (19.8%)	1 (1.2%)	81
経営学科	14 (51.9%)	1 (3.7%)	3 (11.1%)	4 (14.8%)	5 (18.5%)	0 (0.0%)	27
外国語学部	47 (37.3%)	15 (11.9%)	20 (15.9%)	16 (12.7%)	24 (19.0%)	4 (3.2%)	126
短期大学部	14 (36.8%)	5 (13.2%)	5 (13.2%)	6 (15.8%)	6 (15.8%)	2 (5.3%)	38

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 20 TOEIC：「この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強のレベルが高すぎる（内容が難しい）	受検したが不合格だったので、やる気がしない	この資格の取得に魅力を感じない	勉強するのがめんどうくさい	この資格がどのような内容か知らない	受験料が高い	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	47 (53.4%)	2 (2.3%)	12 (13.6%)	16 (18.2%)	4 (4.5%)	3 (3.4%)	4 (4.5%)	88
人間学部	96 (35.0%)	6 (2.2%)	42 (15.3%)	64 (23.4%)	42 (15.3%)	14 (5.1%)	10 (3.6%)	274
社会情報学科	66 (52.4%)	3 (2.4%)	5 (4.0%)	36 (28.6%)	5 (4.0%)	9 (7.1%)	2 (1.6%)	126
メディア表現学科	38 (44.7%)	2 (2.4%)	11 (12.9%)	14 (16.5%)	9 (10.6%)	7 (8.2%)	4 (4.7%)	85
地域社会学科	32 (47.1%)	1 (1.5%)	5 (7.4%)	16 (23.5%)	5 (7.4%)	6 (8.8%)	3 (4.4%)	68
経営学科	7 (41.2%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	1 (5.9%)	17
外国語学部	31 (39.2%)	1 (1.3%)	13 (16.5%)	14 (17.7%)	7 (8.9%)	8 (10.1%)	5 (6.3%)	79
短期大学部	50 (60.2%)	1 (1.2%)	12 (14.5%)	9 (10.8%)	10 (12.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	83

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

質問⑦「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。あなたにとって一番重要だと思うもの1つに印をつけてください。」

すべてのカテゴリーにおいて、「資格のための対策講座の設置」が一番多く、次いで「金銭的な援助」であった (Table 21)。

4) MOSについて

質問①「この資格について、どのようなイメージをもっていますか (複数回答可)。」

5つのカテゴリーにおいて、「この資格を知らない」という回答が一番多かった。また、3つのカテゴリーにおいて、「就職に有利である」という回答が一番多かった (Table 22)。

質問②「現在までに、この資格を受験したことがありますか (複数回答可)。」

すべてのカテゴリーにおいて、「受験をしたことがない」との回答が非常に多く、90.0%以上を超えていた (Table 23)。

質問③「現在、この資格 (さらに上の級) を取得したいと思っていますか。」

すべてのカテゴリーにおいて、「思っていない」との回答が多く、半数を超えていた。他方、「思っており、勉強 (活動) をしている」と「思っているが勉強 (活動) はしていない」という '受けようという意思のある者' のうち勉強 (活動) をしている者は非常に少なかった (Table 24)。

質問④「上記質問③で「思っており、勉強 (活動) をしている」と答えた方のみにお聞きします。現在、この資格 (さらに上の級) の取得のためにやっている主な勉強 (活動) 1つに印をつけてください。」

Table 21 TOEIC : 「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。」

	資格のための対策講座の設置	資格のための説明会、相談会の設置	学内での問題集の販売	金銭的な援助	学内での団体受験の機会	その他	未回答	回答者合計
心理カウンセリング学科	114 (47.1%)	19 (7.9%)	27 (11.2%)	43 (17.8%)	31 (12.8%)	2 (0.8%)	6 (2.5%)	242
人間学部	155 (36.7%)	48 (11.4%)	35 (8.3%)	100 (23.7%)	54 (12.8%)	7 (1.7%)	23 (5.5%)	422
社会情報学科	123 (49.0%)	27 (10.8%)	17 (6.8%)	48 (19.1%)	31 (12.4%)	2 (0.8%)	3 (1.2%)	251
メディア表現学科	79 (40.7%)	17 (8.8%)	12 (6.2%)	57 (29.4%)	26 (13.4%)	1 (0.5%)	2 (1.0%)	194
地域社会学科	58 (39.5%)	18 (12.2%)	13 (8.8%)	31 (21.1%)	22 (15.0%)	3 (2.0%)	2 (1.4%)	147
経営学科	15 (37.5%)	5 (12.5%)	3 (7.5%)	13 (32.5%)	2 (5.0%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)	40
外国語学部	96 (43.8%)	8 (3.7%)	23 (10.5%)	51 (23.3%)	29 (13.2%)	4 (1.8%)	8 (3.7%)	219
短期大学部	59 (50.0%)	13 (11.0%)	8 (6.8%)	19 (16.1%)	14 (11.9%)	1 (0.8%)	4 (3.4%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率 (少数第2位切り捨て)。

Table 22 MOS : 「この資格について、どのようなイメージをもっていますか (複数回答可)。」

	就職に有利である	自分のレベルアップ (自己向上) に適している	取得してもメリットがない	自分の能力では取得が難しい	この資格を知らない	回答者合計
心理カウンセリング学科	143 (43.9%)	84 (25.8%)	5 (1.5%)	20 (6.1%)	74 (22.7%)	326
人間学部	100 (22.3%)	56 (12.5%)	11 (2.5%)	19 (4.2%)	262 (58.5%)	448
社会情報学科	113 (39.0%)	55 (19.0%)	6 (2.1%)	13 (4.5%)	103 (35.5%)	290
メディア表現学科	76 (32.2%)	62 (26.3%)	3 (1.3%)	15 (6.4%)	80 (33.9%)	236
地域社会学科	57 (32.6%)	32 (18.3%)	4 (2.3%)	11 (6.3%)	71 (40.6%)	175
経営学科	21 (41.2%)	14 (27.5%)	3 (5.9%)	4 (7.8%)	9 (17.6%)	51
外国語学部	86 (35.8%)	24 (10.0%)	0 (0.0%)	9 (3.8%)	121 (50.4%)	240
短期大学部	36 (27.5%)	16 (12.2%)	1 (0.8%)	6 (4.6%)	72 (55.0%)	131

※実数は人数。かつこの中は比率 (少数第2位切り捨て)。

Table 23 MOS：「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

	スペシャリストに合格	エキスパートに合格	受験をして不合格	受験をしたことがない	回答者合計
心理カウンセリング学科	1 (0.4%)	2 (0.8%)	2 (0.8%)	234 (97.9%)	239
人間学部	2 (0.5%)	8 (2.0%)	7 (1.8%)	379 (95.7%)	396
社会情報学科	0 (0.0%)	1 (0.4%)	4 (1.6%)	242 (98.0%)	247
メディア表現学科	1 (0.5%)	2 (1.1%)	2 (1.1%)	185 (97.4%)	190
地域社会学科	0 (0.0%)	3 (2.1%)	2 (1.4%)	139 (96.5%)	144
経営学科	3 (7.5%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	36 (90.0%)	40
外国語学部	2 (1.0%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	201 (97.6%)	206
短期大学部	2 (1.8%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	108 (96.4%)	112

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 24 MOS：「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

	思っており、勉強（活動）をしている	思っているが、勉強（活動）はしていない	思っていない	未回答	回答者合計
心理カウンセリング学科	4 (1.7%)	80 (33.1%)	153 (63.2%)	5 (2.1%)	242
人間学部	2 (0.5%)	45 (10.7%)	332 (78.7%)	43 (10.2%)	422
社会情報学科	5 (2.0%)	73 (29.1%)	158 (62.9%)	15 (6.0%)	251
メディア表現学科	4 (2.1%)	57 (29.4%)	123 (63.4%)	10 (5.2%)	194
地域社会学科	1 (0.7%)	38 (25.9%)	98 (66.7%)	10 (6.8%)	147
経営学科	2 (5.0%)	17 (42.5%)	20 (50.0%)	1 (2.5%)	40
外国語学部	5 (2.3%)	40 (18.3%)	152 (69.4%)	22 (10.0%)	219
短期大学部	1 (0.8%)	17 (14.4%)	93 (78.8%)	7 (5.9%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

カテゴリーによって上位にくるものが異なっていたが、「参考書を用いて、独自に勉強している」をはじめとして、「この資格に関する授業や講座を履修している」「友人に勉強を教えてもらっている」「この資格のHPを見たり、ガイドブックを読んだりしている」という回答が選択されることが多かった（Table 25）。

質問⑤「上記質問③で「思っているが勉強（活動）はしていない」と答えた方のみにお聞きします。資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

すべてのカテゴリーにおいて、「勉強の仕方がわからない」との回答が多かった（Table 26）。

質問⑥「上記質問③で「思っていない」と答えた方のみにお聞きします。この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてく

ださい。」

すべてのカテゴリーにおいて、「この資格がどのような内容か知らない」との回答が一番多かった（Table 27）。

質問⑦「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。あなたにとって一番重要だと思うもの1つに印をつけてください。」

ほとんどのカテゴリーにおいて、「資格のための対策講座の設置」が一番多かった。また、「資格のための説明会、相談会の設置」という回答が5つのカテゴリーにおいて、次いで多かった（Table 28）。

2. 4つの資格に対する総合的な集計

今回調査を行った4つの資格に対する総合的な検討を行うため、調査対象者全員のデータを基に、質問項目それぞれについて資格ごとに集

Table 25 MOS : 「現在、この資格（さらに上の級）の取得のためにやっている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

	参考書を用いて、独自に勉強している	この資格に関する授業や講座を履修している	教員に勉強を教えてもらっている	友人に勉強を教えてもらっている	この資格のHP、ガイドブックを読みだしている	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	4 (26.7%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	4 (26.7%)	2 (13.3%)	3 (20.0%)	15
人間学部	5 (11.4%)	3 (6.8%)	5 (11.4%)	6 (13.6%)	13 (29.5%)	12 (27.3%)	44
社会情報学科	3 (14.3%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	4 (19.0%)	2 (9.5%)	9 (42.9%)	21
メディア表現学科	5 (23.8%)	7 (33.3%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	3 (14.3%)	5 (23.8%)	21
地域社会学科	2 (18.2%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	11
経営学科	3 (27.3%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	5 (45.5%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	11
外国語学部	5 (14.3%)	1 (2.9%)	3 (8.6%)	5 (14.3%)	9 (25.7%)	12 (34.3%)	35
短期大学部	3 (30.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	10

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 26 MOS : 「資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強の仕方が分からない	他の資格取得の勉強が忙しい	他の専門的勉強やゼミ活動が忙しい	アルバイトを優先させたいため、時間がない	自分の好きな活動を優先させたいため、時間がない	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	34 (38.2%)	12 (13.5%)	11 (12.4%)	12 (13.5%)	13 (14.6%)	7 (7.9%)	89
人間学部	20 (23.8%)	14 (16.7%)	12 (14.3%)	9 (10.7%)	10 (11.9%)	19 (22.6%)	84
社会情報学科	43 (48.9%)	11 (12.5%)	5 (5.7%)	8 (9.1%)	9 (10.2%)	12 (13.6%)	88
メディア表現学科	32 (45.1%)	6 (8.5%)	10 (14.1%)	5 (7.0%)	8 (11.3%)	10 (14.1%)	71
地域社会学科	24 (47.1%)	6 (11.8%)	2 (3.9%)	5 (9.8%)	8 (15.7%)	6 (11.8%)	51
経営学科	9 (42.9%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	4 (19.0%)	3 (14.3%)	3 (14.3%)	21
外国語学部	26 (36.1%)	8 (11.1%)	6 (8.3%)	5 (6.9%)	10 (13.9%)	17 (23.6%)	72
短期大学部	8 (30.8%)	8 (30.8%)	1 (3.8%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	5 (19.2%)	26

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 27 MOS : 「この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強のレベルが高すぎる（内容が難しい）	受検したが不合格だったので、やる気がしない	この資格の取得に魅力を感じない	勉強するのがめんどうくさい	この資格がどのような内容か知らない	受験料が高い	その他	回答者合計
心理カウンセリング学科	25 (15.4%)	2 (1.2%)	26 (16.0%)	16 (9.9%)	80 (49.4%)	6 (3.7%)	7 (4.3%)	162
人間学部	26 (7.4%)	3 (0.9%)	63 (17.9%)	36 (10.3%)	192 (54.7%)	15 (4.3%)	16 (4.6%)	351
社会情報学科	18 (11.0%)	1 (0.6%)	19 (11.6%)	21 (12.8%)	90 (54.9%)	9 (5.5%)	6 (3.7%)	164
メディア表現学科	19 (14.4%)	2 (1.5%)	11 (8.3%)	10 (7.6%)	72 (54.5%)	10 (7.6%)	8 (6.1%)	132
地域社会学科	12 (11.1%)	2 (1.9%)	8 (7.4%)	12 (11.1%)	60 (55.6%)	7 (6.5%)	7 (6.5%)	108
経営学科	4 (17.4%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	5 (21.7%)	10 (43.5%)	2 (8.7%)	1 (4.3%)	23
外国語学部	14 (8.9%)	1 (0.6%)	36 (22.9%)	12 (7.6%)	83 (52.9%)	5 (3.2%)	6 (3.8%)	157
短期大学部	6 (6.4%)	1 (1.1%)	15 (16.0%)	10 (10.6%)	57 (60.6%)	3 (3.2%)	2 (2.1%)	94

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 28 MOS：「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。」

	資格のための 対策講座の設 置	資格のための 説明会、相談 会の設置	学内での問題 集の販売	金銭的な援助	学内での団体 受験の機会	その他	未回答	回答者 合計
心理カウンセリング学科	83 (34.3%)	56 (23.1%)	10 (4.1%)	33 (13.6%)	21 (8.7%)	27 (11.2%)	12 (5.0%)	242
人間学部	115 (27.3%)	93 (22.0%)	23 (5.5%)	85 (20.1%)	39 (9.2%)	34 (8.1%)	33 (7.8%)	422
社会情報学科	97 (38.6%)	41 (16.3%)	10 (4.0%)	36 (14.3%)	25 (10.0%)	32 (12.7%)	10 (4.0%)	251
メディア表現学科	68 (35.1%)	24 (12.4%)	3 (1.5%)	53 (27.3%)	20 (10.3%)	17 (8.8%)	9 (4.6%)	194
地域社会学科	44 (29.9%)	31 (21.1%)	9 (6.1%)	26 (17.7%)	12 (8.2%)	19 (12.9%)	6 (4.1%)	147
経営学科	12 (30.0%)	8 (20.0%)	3 (7.5%)	13 (32.5%)	1 (2.5%)	2 (5.0%)	1 (2.5%)	40
外国語学部	64 (29.2%)	32 (14.6%)	11 (5.0%)	48 (21.9%)	13 (5.9%)	31 (14.2%)	20 (9.1%)	219
短期大学部	44 (37.3%)	25 (21.2%)	4 (3.4%)	14 (11.9%)	12 (10.2%)	11 (9.3%)	8 (6.8%)	118

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

計を行った。

1) 質問①「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

漢検においては、「自分のレベルアップ（自己向上）に適している」（51.5%）との回答が一番多く、半数を超えていた。語検においては、「自分のレベルアップ（自己向上）に適している」（38.5%）との回答が一番多かったが、「就職に有利である」（34.0%）との回答も多かった。他方、「この資格を知らない」（15.5%）との回答比率がやや多かった。TOEICにおいては、「就職に有利である」（53.7%）との回答が一番多く、半数を超えていた。MOSにおいては、「この資格を知らない」（41.7%）という回答が一番多かった。結果を Table 29 に示す。

2) 質問②「現在までにこの資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

漢検においては、3級の合格者が34.1%と一番多かったが、2級以上の合格者は7.4%と少なかった。また、4つの資格の中で、受験をしたことがない者が39.7%と一番少なかった。語検においては、3級の合格者が4.9%と少ないながらも一番多かったが、2級以上の合格者は1.6%と非常に少なかった。また、受験をしたことがない者が89.1%と顕著に多かった。TOEICにおいては、470点未満の者が9.0%と一番多かったが、それ以上の得点の者は6.1%と少なかった。また、受験をしたことがない者が82.6%と多

かった。MOSにおいては、スペシャリスト、またはエキスパートに合格している者が2.0%と少なかった。その一方、受験をしたことがない者が96.9%と4つの資格の中で一番多かった。結果を Table 30、31、32 に示す。

3) 質問③「現在、この資格（さらに上の級の資格）を取得したいと思っていますか。」

漢検においては、「思っており、勉強（活動）をしている」と「思っているが、勉強（活動）はしていない」と回答した‘受けようという意思のある者’は半数を超えているが、そのうち、前者は7.1%と少なかった。語検においては、「思っており、勉強（活動）をしている」と「思っているが、勉強（活動）はしていない」と回答した‘受けようという意思のある者’が33.7%と少なかった。他方、「思っていない」との回答が半数を超えていた。TOEICにおいては、「思っており、勉強（活動）をしている」と「思っているが、勉強（活動）はしていない」と回答した‘受けようという意思のある者’は半数を超えているが、そのうち、前者は8.9%と少なかった。MOSにおいては、「思っていない」との回答が69.0%であり、この選択肢の比率が4つの資格の中で一番高かった。結果を Table 33 に示す。

4) 質問④「上記質問③で「思っており、勉強（活動）をしている」と答えた方のみにお聞きします。現在、この資格（さらに上の級）の取

Table 29 全体のデータに対して：「この資格について、どのようなイメージをもっていますか（複数回答可）。」

	就職に有利である	自分のレベルアップ（自己向上）に適している	取得してもメリットがない	自分の能力では取得が難しい	この資格を知らない	回答者合計
漢検	629 (30.6%)	1057 (51.5%)	168 (8.2%)	176 (8.6%)	23 (1.1%)	2053
語検	682 (34.0%)	772 (38.5%)	132 (6.6%)	106 (5.3%)	311 (15.5%)	2003
TOEIC	1236 (53.7%)	578 (25.1%)	35 (1.5%)	340 (14.8%)	112 (4.9%)	2301
MOS	642 (33.5%)	347 (18.1%)	33 (1.7%)	97 (5.1%)	799 (41.7%)	1918

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 30 全体のデータに対して：「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

	3級に合格	2級に合格	1級に合格	受験をして不合格	受験をしたことがない	回答者合計
漢検	565 (34.1%)	120 (7.2%)	3 (0.2%)	313 (18.9%)	658 (39.7%)	1659
語検	78 (4.9%)	14 (0.9%)	11 (0.7%)	71 (4.4%)	1429 (89.1%)	1603

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 31 全データに対して：「現在までに、この資格を受験したことがありますか。」

	470点未満	470点以上 600点未満	600点以上 730点未満	730点以上 860点未満	860点以上	受験をしたことがない	未回答	回答者合計
TOEIC	149 (9.0%)	61 (3.7%)	18 (1.1%)	14 (0.8%)	8 (0.5%)	1367 (82.6%)	37 (2.2%)	1654

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 32 全体のデータに対して：「現在までに、この資格を受験したことがありますか（複数回答可）。」

	スペシャリストに合格	エキスパートに合格	受験をして不合格	受験をしたことがない	回答者合計
MOS	11 (0.7%)	21 (1.3%)	18 (1.1%)	1542 (96.9%)	1592

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 33 全体のデータに対して：「現在、この資格（さらに上の級）を取得したいと思っていますか。」

	思っており、勉強（活動）をしている	思っているが、勉強（活動）はしていない	思っていない	未回答	回答者合計
漢検	117 (7.1%)	773 (46.7%)	753 (45.5%)	11 (0.7%)	1654
語検	63 (3.8%)	495 (29.9%)	1031 (62.3%)	65 (3.9%)	1654
TOEIC	147 (8.9%)	746 (45.1%)	695 (42.0%)	66 (4.0%)	1654
MOS	24 (1.5%)	372 (22.5%)	1142 (69.0%)	116 (7.0%)	1654

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

得のために行っている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

漢検においては、「参考書を用いて、独自に勉強をしている」との回答が半数を超えていた。語検とTOEICにおいても、「参考書を用いて、独自に勉強をしている」との回答が一番多かった。MOSにおいては、「この資格のHP、ガイドブックを読んだりしている」との回答が多かった。また、「友人に勉強を教えてもらっている」との回答が14.8%と4つの資格の中で一番多かった。結果をTable 34に示す。

5) 質問⑤「上記質問③で「思っているが勉強（活動）はしていない」と答えた方のみにお聞きします。資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

漢検においては、「自分の好きな活動を優先させたいため、時間が無い」（34.2%）との回答が一番多かった。語検においては、「自分の好きな活動を優先させたいため、時間が無い」（26.8%）との回答が一番多かったが、次いで

「勉強の仕方が分からない」（24.0%）が多かった。TOEICにおいては、「勉強の仕方が分からない」（38.1%）との回答が一番多かった。MOSにおいても、「勉強の仕方が分からない」（41.7%）との回答が一番多かった。結果をTable 35に示す。

6) 質問⑥「上記質問③で「思っていない」と答えた方のみにお聞きします。この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

漢検においては、「この資格の取得に魅力を感じない」（48.2%）との回答が一番多かった。語検においては、「この資格がどのような内容か知らない」（39.6%）との回答が一番多かった。TOEICにおいては、「勉強のレベルが高すぎる（内容が難しい）」（44.6%）との回答が一番多かった。MOSにおいては、「この資格がどのような内容か知らない」（54.0%）との回答が一番多く、半数を超えていた。結果をTable 36に示す。

Table 34 全体のデータに対して：「現在、この資格（さらに上の級）の取得のために行っている主な勉強（活動）1つに印をつけてください。」

	参考書を用いて、独自に勉強している	この資格に関する授業や講座を履修している	教員に勉強を教えてもらっている	友人に勉強を教えてもらっている	この資格のHP、ガイドブックを読んだりしている	その他	回答者合計
漢検	208 (51.9%)	21 (5.2%)	11 (2.7%)	18 (4.5%)	37 (9.2%)	106 (26.4%)	401
語検	81 (35.5%)	24 (10.5%)	18 (7.9%)	25 (11.0%)	34 (14.9%)	46 (20.2%)	228
TOEIC	149 (46.3%)	30 (9.3%)	22 (6.8%)	26 (8.1%)	41 (12.7%)	54 (16.8%)	322
MOS	30 (17.8%)	17 (10.1%)	14 (8.3%)	25 (14.8%)	39 (23.1%)	44 (26.0%)	169

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 35 全体のデータに対して：「資格取得を考えているが、勉強（活動）をしていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強の仕方が分からない	他の資格取得の勉強が忙しい	他の専門的勉強やゼミ活動が忙しい	アルバイトを優先させたいため、時間が無い	自分の好きな活動を優先させたいため、時間が無い	その他	回答者合計
漢検	109 (12.3%)	132 (14.9%)	134 (15.1%)	163 (18.4%)	303 (34.2%)	46 (5.2%)	887
語検	150 (24.0%)	92 (14.7%)	86 (13.7%)	103 (16.5%)	168 (26.8%)	27 (4.3%)	626
TOEIC	321 (38.1%)	89 (10.6%)	112 (13.3%)	110 (13.1%)	182 (21.6%)	28 (3.3%)	842
MOS	198 (41.7%)	65 (13.7%)	50 (10.5%)	50 (10.5%)	65 (13.7%)	47 (9.9%)	475

※実数は人数。かっこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 36 全体のデータに対して：「この資格を取得しようと思っていない主な理由1つに印をつけてください。」

	勉強のレベル が高すぎる (内容が難しい)	受検したが不 合格だったの で、やる気が しない	この資格の取 得に魅力を感じ ない	勉強するのが めんどうくさ い	この資格がど のような内容 か知らない	受験料が高い	その他	回答者 合計
漢検	71 (8.2%)	72 (8.3%)	417 (48.2%)	200 (23.1%)	31 (3.6%)	41 (4.7%)	34 (3.9%)	866
語検	60 (5.5%)	17 (1.6%)	327 (30.1%)	171 (15.8%)	430 (39.6%)	45 (4.1%)	35 (3.2%)	1085
TOEIC	369 (44.6%)	16 (1.9%)	104 (12.6%)	174 (21.0%)	82 (9.9%)	52 (6.3%)	30 (3.6%)	827
MOS	124 (10.3%)	13 (1.1%)	179 (14.9%)	125 (10.4%)	651 (54.0%)	58 (4.8%)	55 (4.6%)	1205

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

Table 37 全体のデータに対して：「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。」

	資格のための 対策講座の設 置	資格のための 説明会、相談 会の設置	学内での問題 集の販売	金銭的な援助	学内での団体 受験の機会	その他	未回答	回答者 合計
漢検	412 (24.9%)	124 (7.5%)	186 (11.2%)	571 (34.5%)	315 (19.0%)	16 (1.0%)	30 (1.8%)	1654
語検	434 (26.2%)	254 (15.4%)	141 (8.5%)	511 (30.9%)	235 (14.2%)	23 (1.4%)	56 (3.4%)	1654
TOEIC	710 (42.9%)	156 (9.4%)	140 (8.5%)	365 (22.1%)	210 (12.7%)	21 (1.3%)	52 (3.1%)	1654
MOS	532 (32.2%)	314 (19.0%)	73 (4.4%)	311 (18.8%)	145 (8.8%)	176 (10.6%)	103 (6.2%)	1654

※実数は人数。かつこの中は比率（少数第2位切り捨て）。

7) 質問⑦「この資格取得の際に、大学からどのようなサポートがあったらいいと思いますか。あなたにとって一番重要だと思うもの1つに印をつけてください。」

漢検においては、「金銭的な援助」(34.5%)「資格のための対策講座の設置」(24.9%)が上位であった。語検においては、「金銭的な援助」(30.9%)「資格のための対策講座の設置」(26.2%)が上位であった。TOEICにおいては、「資格のための対策講座の設置」(42.9%)「金銭的な援助」(22.1%)が上位であった。MOSにおいては、「資格のための対策講座の設置」(32.2%)「資格のための説明会、相談会の設置」(19.0%)「金銭的な援助」(18.8%)が上位であった。結果をTable 37に示す。

IV 考察

1. 各資格における質問項目に対するカテゴリーごとの集計について

回答において、カテゴリー（在籍学科）ごとに大きな違いは見られなかった。このことから、学生の漢検、語検、TOEIC、MOSの取得状況、及びイメージや意識はカテゴリー（在籍学科）に関わらず、ほぼ同様であると考えられ

る。そのため、各資格における学生の結果の考察は、次の‘2. 4つの資格に対する総合的な集計について’において、全体的なものとして扱うことにする。ここでは、いくつかの資格に対する質問項目においてみられた、特徴的なカテゴリー（在籍学科）の結果について考察を行う。

1) 漢検における質問⑦：大学からのサポート

短期大学部では、漢検の質問⑦の回答において「学内での団体受験の機会」を求める意見が他のカテゴリーよりも多かった。目白大学は、平成20年から大学内で漢検の試験を実施しており、その中心となったのは短期大学部の教員であった。現在でも短期大学部では学内で実施される漢検の受験を推奨しているため、他のカテゴリーと比べて、毎年、短期大学部学生の漢検受験者は一定数いるという状況である。すなわち、短期大学部の学生は、普段通いなれた場所で受験をする‘学内受験’という形式を有効に活用していると言える。このようなことから、短期大学部の学生は、「学内での団体受験の機会」のメリットを重視し、大学からのサポートとして求めているのではないかと考えられる。

2) 語検における質問①：資格に対するイメージ、質問②：取得状況、質問③：取得意思、質問⑥：資格取得を思わない理由

メディア表現学科では、語検に対する質問①～③、⑥の回答において、他のカテゴリーとは異なる特徴が見られている。これは、1年生のベーシックセミナーでの取り組みに関係すると考えられる。メディア表現学科では、平成24年からベーシックセミナーにおいて「マスター日本語表現」をテキストに用い、日本語の基礎力向上に力を注いでいる。また、学科の資格担当の教員が中心となり、語検の内容説明を行うとともに、その受験を推奨している。このような取り組みが今回の結果に反映され、語検の知名度や受験しようとする意思も他のカテゴリーよりも高くなり、受験者も多くなっていたのではないかと推測される。このように、メディア表現学科がこれまで行ってきた語検に対する積極的な取り組みは、学生の意識を変え、受験という行動へとつながっていると考えられるわけだが、具体的な取り組みやその結果は、西尾・矢島・鈴木・河野・上岡・大枝・若井（2016）において説明されているため、そちらを参照されたい。他方、質問⑥の資格取得を思わない理由について、ほとんどのカテゴリーでは、「この資格がどのような内容か知らない」との回答が多く、正確に語検の特徴や内容を理解してはなく、魅力が伝わっていない可能性が考えられた。しかしメディア表現学科の学生は、「勉強するのがめんどくさい」との回答が他のカテゴリーよりも顕著に多く、語検の特徴や内容を知りその重要性は理解しているが、勉強が億劫であると思っている学生が多いのではないかと推察された。今後、語検の資格取得を支援する取り組みの中では、この資格の内容を学生に説明し、理解させるとともに「目標をもって資格取得に取り組むことはやりがいがあり、面白いことだ」と思えるように促し、学生が積極的に受験へと行動できるように内発的動機を高めていくことが必要であろう。

3) TOEICにおける質問②：取得状況

外国語学部では、TOEICの質問②の回答に

おいて、受験をしたことのある学生が他のカテゴリーと比較して多かった。外国語学部は、語学に興味・関心をもち、日本語以外の言語にも積極的に関与しようとする意思をもつ学生が多いのではないだろうか。そのため、他のカテゴリーよりも、英語の資格であるTOEICの受験者が多かったのではないかと考えられる。

2. 4つの資格に対する総合的な集計について

今回調査を行った漢検、語検、TOEIC、MOSという4つの資格それぞれについて、記載していく。

1) 漢検について

学生が抱く漢検へのイメージは「自己向上（レベルアップ）のため」という回答が最も多かった。この資格は、公益財団法人日本漢字能力協会が主催するものであり、1級（大学・一般程度）から10級（小学1年生修了程度）まで幅広い級の認定を行っている。学生は幼い頃から、基礎学力をつけたり、自信や挑戦心などを養ったりするために、学校の先生や親にこの資格の受験を勧められ、自分のための資格という認識をしてきたのではないかと考えられる。すなわちこの資格は、学生に身近なものであり、比較的勉強しやすいと思われていると言えるのではないだろうか。それを支持するように、「この資格を知らない」という回答は全体で1%程度であり、「受験をしたことがない」という回答は半数を下回り、4つの資格の中では一番少なかった。

このように一般的な資格ではあるが、取得状況をみると3級（中学校卒業程度）に合格している学生が34%で、2級（高校卒業・大学・一般程度）以上に合格している学生は7%程度である。2級の合格者が3級も保持していると推測すると、3級の合格者は30%弱くらいであろう。この状況は、他の3つの資格と比較すると高いものであると言えるが、学生として望ましいレベルの2級取得状況は芳しくない。また、半数以上の学生が資格取得や上位級を目指す気持ちをもっているものの、すでに勉強を行っている者はごく少数という状況である。そし

て、勉強を行っていない理由は、「自分の好きな活動を優先させたいため、時間がない」という回答が多かった。これは、学生が日常生活において、漢検を受験するよりもバイトやサークル活動などを重視しているということを示唆しており、資格取得をあまり重視していないということを示唆しているのではないだろうか。他方、資格取得を目指していない理由は、「この資格の取得に魅力を感じない」という回答が顕著である。これらを言い換えると前者は、「資格の内容を理解した上で、取得を目指しているが行動をしていない」者であり、後者は「資格の内容を理解した上で、取得に魅力を感じていない」者であろう。

以上のことから、今後、漢検の資格取得を支援するためには、積極的にこの資格の意義や取得メリットを伝えるとともに、できるだけ大学レベルの2級以上の取得を推奨していくことが重要であると考えられる。また、この資格は比較的独学できると考えられているようであり、大学に対して求められているサポートは、受験をするための「金銭的な援助」であった。今後、大学は受験料の援助や合格報奨金という形で、この資格取得を促すための‘後押し’や‘受けようという動機の向上’としての制度を整えていくことが必要なのではないだろうか。

2) 語検について

学生が抱く語検へのイメージは「自己向上(レベルアップ)のため」という回答が最も多く、次いで「就職に有利である」であった。この資格は、特定非営利活動法人日本語検定委員会が平成19年から主催するものであり、文部科学省などが後援している。1級(社会人)から7級(小学2年生修了程度)までの階級があり、漢字だけでなく、敬語や語彙など日本語の幅広い総合能力を測定するものである。日本語に関する資格のためか、自身の教養に役立つという認識をされている一方、就職活動の作法、能力としても有効と理解されているようである。また、まだ新しい資格のせいも、「この資格を知らない」との回答が全体で16%と若干高いと言える。

資格取得状況をみると3級(高校卒業程度)に合格している者が約5%で、2級(大学卒業程度)以上の合格者が2%程度である。一方、「受験をしたことがない」学生は約90%であり、この資格の受験状況は非常に悪い。また、約35%の学生が資格取得や上位級を目指す気持ちをもっているものの、すでに勉強を行っている者はわずかという状況である。他方、資格取得を目指していない理由は、「この資格がどのような内容か知らない」という回答が顕著である。これらを言い換えると前者は、「資格の内容を理解した上で、取得を目指しているが行動をしていない学生」であり、後者は「資格の内容を理解していないので、取得を目指していない学生」であろう。

以上のことから、今後、語検の資格取得を支援するためには、まずはその資格の内容や意義を学生に周知させることが急務であると考えられる。すでにこれらを行っているメディア表現学科の結果から示唆されるように、この資格を積極的に説明し、理解させることにより、受験者数も向上するのではないだろうか。その上で、できるだけ大学卒業程度のレベルである2級以上の取得を促していくことが重要である。この資格は、日本語を対象としているからか、「自分の能力では取得が難しい」というようなイメージをもたれることは少なく、独自に勉強できるものだと認識されているようであった。そのため、大学に求められているサポートは実質的な「金銭的な援助」であり、受験への‘後押し’や‘受けようという動機の向上’に基づいたものであると推測される。そのため、今後大学は、受験料の援助や合格報奨金という形の制度を整えていくことが必要なのではないだろうか。

3) TOEICについて

学生が抱くTOEICへのイメージは「就職に有利である」という回答が顕著であった。日本においてこの資格は、一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が運営しており、英語によるコミュニケーション能力を測定するものである。現在、英語を何らかの形で使用して

いる国内企業は75%にも及ぶとされ、様々な部署で英語の能力が必要とされている（国際ビジネスコミュニケーション協会、2013）。また最近では、社内で英語を公用化する大手企業についてもメディアなどで大きく取りあげられ、話題となっている。このような状況を学生も知っており、「英語の資格は就職の武器になる」あるいは「社会人として英語は重要」と認識し、英語の資格であるTOEICのイメージを形成させているのではないかと考えられる。

TOEICは10点から990点までのスコアでレベルが表現されるが、470点以上が日常生活のニーズに対応できるレベルとされている。多くの企業は新卒者に500点以上を求めることが多い。取得状況をみると470点以上の学生が約6%と少なく、470点未満の学生が約10%程度である。一方、「受験をしたことがない」学生が83%であり、この資格の受験状況も語検と同様に非常に悪い。また、約56%と比較的多くの学生が資格取得や上位級を目指す気持ちをもっているものの、すでに勉強を行っている者は少数という状況である。また、目指す気持ちがあるものの勉強を行っていない者の理由として、「勉強の仕方が分からない」という回答が一番多い。他方、資格取得を目指していない理由は、「勉強のレベルが高すぎる（内容が難しい）」という回答が顕著である。これらの結果から、多くの学生が英語は難しく、どのように勉強したらよいか分からないと感じていることが伺える。このことに関連して、求めるサポートの結果では、「対策講座の設置」との回答が一番多かった。すなわち学生は、英語の資格であるTOEICの受験に関しては、英語は難しく、どうやったら点数がとれるのか分からないと思いき、独自に勉強をすることに限界を感じてしまっているため、「英語を学ぶ」という行動を積極的に行えていないのではないだろうか。そのため、大学側には受験のための教育（勉強）の場を求めていると言えよう。

以上のことから、半数以上の学生がTOEICの受験を積極的に目指しているという状況があるものの、英語の勉強をしても成績が上がらなかつたり、なかなか修得できなかつたりした経

験からか、勉強のやり方が分からないと行動に移せていない状況が見受けられた。また、内容が難しかったりするため、受験への意欲が失せている学生がいることも推測される。そのため、学生がこの資格を取得するために大学が整備すべきこととして、実質的受験の支援というよりは、その一步手前の勉強の支援が重要であると考えられる。すなわち、この資格を受験するための英語の勉強の仕方を教える、レベルごとの対策講座などを設置し、学生が継続して勉強に取り組めるような積極的支援を行うというような教育的支援が急務である。また、英語に対して苦手意識をもつ学生が多く、受験への興味を持たれていない可能性がある。そのような意識を払しょくするために、座学的な講座のみならず、まずは外国人の教員や英語圏からの留学生と自由に簡単な会話などができる時間やスペースを充実させていくことも、支援の1つとして取り組んでみることも必要ではないだろうか。

4) MOSについて

MOSはMicrosoft Officeにおけるアプリケーションに対する資格であり、パソコンの操作、及び情報処理に関する資格である。日本では、オデッセイコミュニケーションズが運営・実施をしている。学生が抱くMOSへのイメージは、「この資格を知らない」というものであり、回答が全体の42%と4つの資格の中で最も高い結果となった。日常生活においてパソコンを頻繁に利用する世代である学生は、自分のやりたいことはパソコンである程度できるためか、現在の自分にはあまり必要のないアプリケーションを操作したり、使いこなしたりするパソコンの資格には、興味・関心があまり高くないのかもしれない。他方、この資格を知っている学生の中では、「就職に有利である」という回答が多かった。我が国の企業におけるインターネット利用は平成25年末で99.9%と、ほぼ全企業で導入されている（総務省、2015）。すなわち、これから社会人となる学生には、パソコンを使いこなす能力が必要不可欠であると言える。学生もそのことを理解しており、「パソコンに関する資格をもつことは就職への近道」と

いう認識を抱いていると推測される。

MOSにはWord、Excel、PowerPoint、Access、Outlookという試験科目があり、それぞれスペシャリストレベル（一般）とエキスパートレベル（上級）のバージョンがある。取得状況を見ると、スペシャリストレベル、エキスパートレベルのどちらにおいても1%にも満たなかった。他方、「受験をしたことがない」学生が97%であり、4つの資格の中で一番受験されていない資格と言えよう。また、資格取得や上位級を目指す気持ちをもっているものが約23%と非常に低く、すでに勉強を行っている学生はその約1%しかいなかった。反対に、「資格取得を目指していない」学生は約70%もあり、その理由は、「この資格がどのような内容か知らない」という回答が一番多かった。現在、様々な企業でパソコンを使用する仕事が存在しているが、今後もパソコンがなくなることはないだろう。人生の中で自由な時間が多くある学生のうちに、目の前にあるパソコンの様々な可能性を知り、自分の能力を向上させるためにもMOSのような資格に挑戦することも重要なのではないかと考える。

以上のことから、今後、大学がMOSの資格取得を支援するためには、まずはこの資格の内容・特色などを周知させ、学生のこの資格に対する興味・関心を高めていくことが重要であると考えられる。その後さらに、求めるサポートとして一番多い回答であった「対策講座の設置」を行い、受験まで継続して支援していくことが必要であろう。

3. 資格取得に関するまとめ

目白大学資格支援センター総合資格支援プロジェクトワーキンググループでは、学生の資格取得を支援することを目的として、様々な調査や取り組みを行ってきた。本稿は、漢検、語検、TOEIC、MOSという大学の学業に必要とされる基礎学力に関する資格の取得状況、及びその資格に対する意識についての調査結果をまとめたものである。

調査結果から、4つの資格に対する学生の実情が明らかになり、それぞれの資格の具体的な

特徴を把握することができた。漢検と語検へのイメージは「自己向上（レベルアップ）のため」が主なものであり、「金銭的支援」を大学に求めている。一方、TOEICとMOSへのイメージは「就職に有利」が主なものであり、「対策講座の設置」を大学に求めている。また、漢検とTOEICは学生に知られていたが、語検とMOSは知られていないようであった。さらに、資格を取得しようと思っている多くの学生が、「思っているだけ」で実際の勉強（活動）に行動を移せていないことが示された。

今回、TOEICやMOSへのイメージは「就職に有利」というものが多かったが、業務独占の職業（医師・看護師など）や福祉・保育系職業などをのぞいて、資格取得が就職に有利であると一概には言えない。すなわち、資格を取得すれば必ず企業から内定がもらえ、就職ができるという保証があるわけではないのである。では、資格取得を学生に推奨した方がいいのはなぜだろうか。

資格を取得するという活動（行動）には、「目的をもって主体的に一生懸命に何かに取り組む」という姿勢や態度が含まれ、資格に合格した（目標をかなえた）後には、「自負心や自尊心」を形成することができる。そしてその過程において、自己成長、向上があり、アイデンティティの獲得にもつながるだろう。就職活動では、このような学生時代の資格取得によって育まれた「自立・自律的行動」や「それに裏打ちされた自己肯定感」が評価され、大切なのではないかと考える。すなわち、資格を取得することは、その資格を持つことが直接的な就職のメリットというよりもむしろ、その経験を通して、学生が自ら目的意識をもち、積極的に活動（行動）し、自信をもつという点が重要なことであり、学生に推奨していく意味があると言えるのではないだろうか。また、矢島・鈴木・笹川・河野・西尾・上岡（2014）が指摘しているように、資格取得は就職には直接つながらないかもしれないが、長い人生の中で将来、その資格が必要となる場面がくるかもしれない。他方、資格の取得は、このような就職だけ

の観点にとどまらず、基礎学力を向上させたり、視野を広げたりさせたりするという側面もあり、日々の大学での学修にもよい効果をもたらすのではないかと考える。

以上のことから、今後大学では、一人でも多くの学生が資格取得のための勉強（活動）を積極的に行えるように促していくことを目的として、それぞれの資格に適したサポート体制を整えていくことが必要であると考えます。大学には社会に貢献する人材を育てるという大きな役割があるわけですが、目白大学の理念は、「育てて送り出す」というものである。この中心的な活動の1つとして、資格の取得を打ち出し、社会人として活躍できる人材を育てていくことが喫緊の課題といえよう。

【引用文献】

- 国際ビジネスコミュニケーション協会（2013）上場企業における英語活用実態調査報告書 国際ビジネスコミュニケーション協会
〈www.toeic.or.jp/library/toeic_data/toeic/.../katsuyo_2013.pdf〉（2015年10月2日）
- 文部科学省（2014）大学教育等の充実に係る文部科学省提出資料 文部科学省

〈www8.cao.go.jp/youth/suisin/hyouka/k_5/pdf/s1-7.pdf〉（2015年10月2日）

西尾典洋・矢島卓郎・鈴木章生・河野理恵・上岡史郎・大枝近子・若井千草（2016）目白大学生における国語力向上を目指した日本語検定の活用 目白大学総合科学研究、12、127-137.

総務省（2013）平成25年通信利用動向調査の結果 総務省

〈www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/140627_1.pdf〉（2015年10月2日）

矢島卓郎・鈴木章生・笹川智子・河野理恵・西尾典洋・上岡史郎（2013）目白大学生の資格に関するニーズ調査報告書 目白大学平成24年度総合資格支援プロジェクト報告書

矢島卓郎・鈴木章生・笹川智子・河野理恵・西尾典洋・上岡史郎（2014）大学教育において資格取得は必要か？ 人と教育、8、57-67.

謝辞

調査にご協力いただいた学生の皆様に心より御礼申し上げます。また、研究を実施するにあたり、目白大学教務部、目白大学教務部資格支援課の加藤公生様よりご支援をいただきました。深く感謝いたします。